

5.3 科学研究費など外部資金 (平成30年度)

a. 研究課題, b. 研究代表者, c. 金額

(1) 日本学術振興会

(1.1) 科研費新学術領域 (研究領域提案型) 太陽地球圏環境予測: 我々が生きる宇宙の理解とその変動に対応する社会基盤の形成 (代表: 草野完也)

(1.1.1)

a. A02 太陽嵐の発生機構の解明と予測

b. (代表) 一本潔

c. 平成27年-31年 (総額 125,400,000円) 平成30年度 21,710,000円

(1.1.2)

a. A04 太陽周期活動の予測とその地球環境影響の解明

b. (代表) 余田成男、(分担) 浅井歩

c. 平成30年度: 900,000円 (浅井分配分)

(1.1.3)

a. A04 太陽周期活動の予測とその地球環境影響の解明

b. (代表) 余田成男、(分担) 上野悟

c. 平成30年度: 3,050,000円

(1.2) 基盤研究

(1.2.1) 基盤研究 (A)

a. 分割主鏡望遠鏡での直接撮像による木星類似型太陽系外惑星の特性観測

b. (代表) 長田哲也、(分担) 山本広大

c. 平成30年度: 9,300,000円

(1.2.2) 基盤研究 (B)

a. 太陽白色光フレアの解析に基づく、スーパーフレア星の磁気活動機構の解明

b. 柴田一成

c. 平成28年-30年 (総額 13,600,000円) 平成30年度: 4,810,000円

(1.2.3) 基盤研究 (B)

a. 極限補償光学のための高空間・時間分解能を持つ点回折干渉型波面センサの開発

b. 木野勝

c. 平成28年度-31年度 (総額 13,700,000円) 平成30年度 700,000円

(1.2.4) 基盤研究 (C)

a. 太陽型星の高精度測光データから探る巨大黒点の性質とスーパーフレアの関係 (17K05400)

b. 前原裕之

c. 平成29年度-31年度 総額 3,400,000円、平成30年度 700,000円

(1.2.5) 基盤研究 (C)

a. 分割主鏡式天体望遠鏡の相対位置制御アルゴリズム

b. (代表) 軸屋一郎、(分担) 木野勝

c. 平成30年度-32年度 (総額 4,420,000円) 平成30年度 100,000円 (木野分配分)

(1.3) 特別研究員 奨励費

(1.3.1) 特別研究員 奨励費 (DC)

- a. スーパーフレア星の観測から迫る、太陽型恒星の磁気活動とダイナモ理論
 - b. 野津湧太
 - c. 1,100,000 円
- (1.3.2) 特別研究員 奨励費 (DC)
- a. 太陽スピキュール観測で探るコロナ加熱: 波動は加熱に寄与しているか
 - b. 鄭 祥子
 - c. 900,000 円
- (1.3.3) 特別研究員 奨励費 (DC)
- a. 太陽彩層加熱現象の究明に向けた磁気流体波散逸機構の数値モデリング
 - b. 坂上峻仁
 - c. 900,000 円
- (1.3.4) 特別研究員 奨励費 (DC)
- a. 恒星観測から迫る、太陽・恒星の磁気活動性の統一的理解
 - b. 行方宏介
 - c. 1,100,000 円
- (1.4) ひらめきときめきサイエンス ようこそ大学の研究室へ KAKENHI
- a. 太陽活動のなぞを探る
 - b. 浅井 歩
 - c. 410,000 円
- (2) 京都大学
- (2.1) 全学経費
- a. 岡山天文台 3.8m 望遠鏡完成記念及び飛騨天文台 50 周年記念事業
 - c. 4,700,000 円
- (2.2) 平成 29-30 年度 融合チーム研究プログラム SPIRITS
- a. 日本・ペルー・サウジアラビア 高速太陽爆発監視システムの構築とその活用
 - b. 上野悟
 - c. 4,235,000 円
- (3) 国立天文台
- (3.1) 研究集会
- a. 第 9 回 光赤外線天文学大間連携ワークショップ
 - b. 前原裕之
 - c. 200,000 円
- (4) 光・赤外線天文学大学間連携事業
- a. 大学間連携による光・赤外線天文学研究教育拠点のネットワーク構築事業
 - b. 柴田一成
 - c. 14,200,000 円
- (5) 天文学振興財団
- a. 惑星状星雲の多波長三次元分光データ解析による恒星風質量放出の解明
 - b. 大塚雅昭
 - c. 300,000 円